

小信中島連区

地域づくり協議会だより

* 発行者 小信中島連区地域づくり協議会広報広聴部会

2年ぶりの小信中島短期大楽 開催

10/6 いちのみやの歴史＝小信中島編＝

10月6日小信中島公民館で、昨年は開催できなかった高齢者教養講座（小信中島短期大楽）が開催できました。

当日は一宮博物館から神田年浩さんに来ていただき、小信中島が現在の形になる江戸時代に入る前頃から、明治時代に入った頃までの歴史を教えていただきました。

申し込みの期間がまさにコロナ感染者増の最中で、応募された方は10人にとどまりましたが、みなさん神田さんの話を熱心に聞かれました。話がちょっと脱線して起鉄道の話になった時、実際に乗った経験のある方が数人いらして、一同「おーっ」と声が上がったりしました。

今年度はあと2回の開催ですが、来年度は例年のように開催できることを願っております。
(連区長 記)



いちのみやの歴史を学びました

10/27 介護予防について 認知症サポーター養成講座



2回目の小信中島短期大楽は、10月27日小信中島公民館で、「介護予防について」と題して開かれました。内容は認知症サポーター養成講座で、はじめに地域包括支援センター泰玄会から「認知症を学び地域で支えよう」を教材に、認知症についての話がありました。

まずはじめに、認知症は誰にも起こりうる脳の病気ですが、正しい知識を持ち、認知症の人や家族を支える手だてを知っていれば「尊厳ある暮らし」を守ることができると、教えられました。認知症の人への対応“3つの「ない」” 1 驚かせない 2 急がせない 3 自尊心を傷つけない が大切であるということでした。そして、早期発見、早期受診・診断、早期治療が大事であると強調されました。会場から、「一宮市行方不明高齢者等検索メール」についての質問がありましたが、連区のみなさんもぜひとも登録をお願いします。

つづいて、中北薬品の管理栄養士の方から、認知症予防の「中北健康体操」の指導があり、後出しジャンケンやシンキングタッチなどを、会場全員で取り組みました。

最後に、フレイル予防の食事について説明がありました。フレイルとは、筋力や心身の活力が低下した健常と要介護の中間の状態です。身近な問題だけに、盛んに質問の声が上がっていました。



認知症について正しい知識を持つ

10/19 女性学級 「押し花でグッズを作らしよう」

10月19日午後、小信中島公民館で女性学級クラフト教室「押し花でグッズを作らしよう」が、神野富貴子先生をお招きして開催されました。女性学習部員を含め22名の参加となりました。

先生からいただいた押し花は、繊細できれいでかわいく、思わず心が和みます。それを使って一つはコースターを、もう一つは壁掛けを作りました。

まず、先生から作り方を教わり、見本を見せていただきました。最初は、うまくできるかどうかみんな真剣です。うまくできないところは先生に手つだっていたいただき、なんとかとてもかわいい作品が完成しました。

あちらこちらで、「わあー、かわいい!」「わっ、きれい!」と歓声があがりました。やはり女性ですね、とても楽しい2時間でした。

「どうか、来年も女性学級が開催できますように。」と願いつつ、終了しました。
(女性学習部員 記)



きれいなコースター、壁掛けができました

干支と兜の木目込み人形を作りました

小信中島女性の会

昨年度はコロナ感染拡大のため中止となった木目込み人形教室ですが、今年度は緊急事態宣言が解除されたなか、参加人数の制限など感染対策をとりながら、10月8・15・22日の3日間、小信中島公民館で開催することができました。例年は干支のみでしたが全干支を一巡したため、今回は来年の干支「寅」と「兜」の2種類で申込を受けました。

この3日間の教室では、初心者の方も経験者の方も、布目の方向、虎の先、足、兜の鍔(しころ)の模様の合わせ方に苦労していました。それでも、講師の方の説明を熱心に聞きながら、木目込み用のヘラ、ハサミの使い方も時間とともに慣れ、いずれも見事な作品を完成することができました。

今年度は、コロナ感染の影響で他の講座も参加者が減少傾向でした。来年度は、以前と同じように活動できることを願うばかりです。



立派な兜と寅ができました



★小信中島小学校の廊下に掲示されていました。小学校のみんな、頑張っています。

★右のQRコードを読み取るとオモテで紹介した「行方不明高齢者等捜索メール」への登録ができます。

